

学校だより

横浜市情報ネットワーク（ＹＹネット）上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tookaichiba/>

横浜市立十日市場小学校

令和5年8月31日（木）

緑区十日市場町 1392-1 番地

TEL : 981-0420

FAX : 983-1694

他者との差異や違いに意味や価値がある社会へ

校長 平田 あや

8月29日の朝、子どもたちは、夏休み中の宿題を携え、元気よく登校してきました。校舎内に子どもたちの笑い声が響き、友達と嬉しそうに挨拶を交わす姿も見られました。休み中に身長が伸び、以前よりも逞しさを感じる子どもたちもいました。

さて、私は8月に「内閣府科学技術・イノベーション推進事務局」合田哲雄審議官の講演を聞く機会を得ました。文部科学省で、学習指導要領の改訂なども担当された実績のある方です。「今後の教育政策の方向性について」というテーマでのお話の中で、「“みんなと同じことができることが大事”から“他者との差異や違いに意味や価値がある社会”へ」という言葉がとても印象に残りました。彼は、自身のFacebookの中でも「私たちにはそれぞれ認知の特性がある。話すこと・聞くこと、書くこと、読むことのそれぞれでも、情報の受け取りと表現において弱みと強みがある。“子どもを学びに合わせるのではなく、学びを子どもに合わせる”ことの実現に取り組むたい。」と記しています。

これは、「皆、得意なことと苦手なことがある。一人ひとりの違いを認め合う。」という人権教育の根幹にかかわる言葉だと思いました。苦手なことがあるからこそ、私たちは互いに支え合ったり助け合ったりすることができるのだと思います。本校では、授業中での学びあいを大切にしています。算数で問題解決の方法を思いついた子どもが、困っている友達に上手にヒントを出している場面をよく見かけます。算数でヒントをもらった子が、体育では逆にミニ先生となりアドバイスをすることもあります。

また、休み時間や放課後に、苦手な教科の学習にじっくりと取り組んでいる子どももいます。授業中に、課題の半分しか進められなくても、面倒くさかったり不貞腐れたりせず、担任と一緒に黙々と取り組む姿はとても立派だと思います。他人と自分を比べることなく、自分なりの道筋やスピードで学んでいく力があると捉えることができます。

本校の重点研究では、「一人ひとりの姿の見取り」を大切にした授業改善に取り組んでおります。改めて、「子どもたち一人ひとりの違い」に目を向け、個に合わせた授業を創り上げる努力を重ねていきたいと思っております。子どもたちが、自由な発想で素晴らしい未来を創る担い手となるよう、8月以降も教育活動をしつかりと進めて参ります。

夏休み中も、新型コロナウイルス感染症の新規感染者は減ることがなく、なかなかその出口も見えづらい日々が続いています。8月以降も、手洗いや換気の徹底、マスク着用や黙食の指導などを丁寧に行い、子どもたちが安心して学べる環境づくりに努力して参ります。保護者の皆様におかれましても、毎朝の検温や健康観察を徹底していただきますよう、改めてお願い申し上げます。